利用にあたって

1　内容と全体の構成

○本冊子には(1)～(3)の内容が掲載されています。

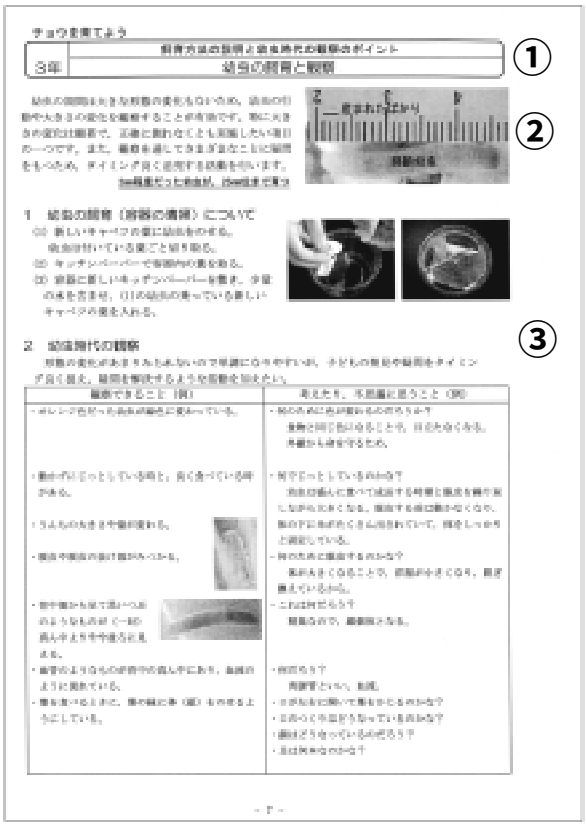
(1) 平成15～17年度　研究「小学校理科における探究的な活動を促す観察・実験について」で開発・工夫した観察・実験の具体的方法，導入・展開例
(2) 教科書に掲載されている観察・実験を行う際の手引
(3) 静岡県版カリキュラム掲載の「発展的な学習の例」の具体的方法

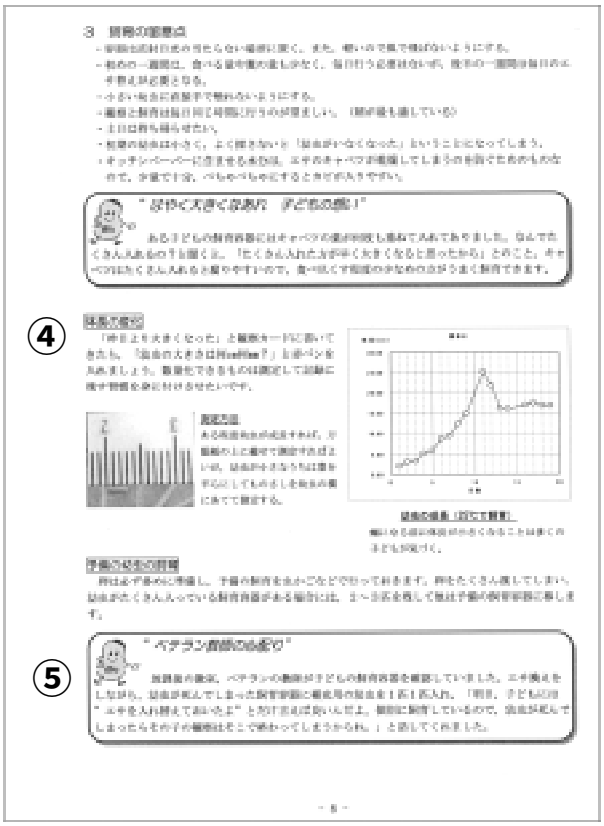
○各学校での使いやすさを考え，全体は以下のような構成になっています。
・(1)～(3)の区別はせずに，学年ごとにＡ区分～Ｂ区分～Ｃ区分の順とした。
・各区分は単元ごとに授業展開なども考慮して配列した。
・教材の作製や薬品の管理などは資料編として巻末にまとめた。

○授業者が，冊子に掲載されている観察・実験のうち必要なものを抜き出し，単元・授業構想の中に位置付けやすいように，できる限り細かく分けてモジュール化してあります。
・見開き２ページ，あるいは１ページで１項目となるようにした。
・同じページ内でも必要な部分だけ抜き出せるようにした。

2　ページの構成とねらい

基本的なページ構成は下のようになります。





① タイトル

・この項目の指導目標や内容の概略が一目で伝わるよう，サブタイトルを付けた。

単元名

学年	サブタイトル
	タイトル

② 前文と図（写真）

・図や写真をタイトルの下に入れ，前文を読むことで内容をイメージしやすいようにした。

③ 観察・実験についての本文

・本文は，文の量が多すぎると読まれないと考え，文を少なく，写真・イラストなどを用いて内容を表現した。
・「どんな力がつくのか」などを子どもの言葉で表現して読者に伝えることが重要だと考え，子どもの表れがわかるように，予想される考えや感想などを掲載した。
・初めてその観察や実験を行う場面を想定し，「観察できること」や「実験結果」を示した。
・観察・実験の留意点や注意事項なども記載した。

④ 資料項目

・○○豆知識などの枠囲み表記の項目は，教材についての教師の理解を深めることを目的として関連する資料を掲載した。

⑤ コラム

・筆者の教材観が読者の教材理解の参考になると考え，コラム欄を設けた。
・実践授業などから得られた指導上参考になる情報なども加えた。

3 魅力ある授業づくりのために

理科は観察・実験を通して学力を育成していく教科であり，本冊子には観察・実験を効果的に行うための方法や教材観，指導上の工夫などが掲載してあります。昨年度発行の静岡県版カリキュラム（理科），自校の評価規準表，そして本冊子を併せて活用することで，目標や学習内容をおさえた単元構想がなされ，確かな学力育成のための「魅力ある授業づくり」が行われることを願っています。

・観察・実験書としてだけではなく，読み物としても利用できるように関連した資料を掲載しました。なお，「発展的な学習」にあたる箇所については ＜発展＞ と表記しました。
・授業者の年間計画や単元構想，子どもの実態に応じて，観察・実験を選択し活用してください。
・初めて授業を受け持つ先生方でも観察・実験ができるように記述したつもりですが，誌面だけでは伝わらない部分も多くあります。教材の入手先，具体的な観察・実験方法など不明な点は，カリキュラム開発課 理科教育担当（下記連絡先）までご連絡ください。また，冊子を参考にして，授業を実践していただいた先生方の感想も是非ともお寄せください。

カリキュラム開発課 理科教育担当 電 話 ０５３７－２４－９７２５
ＦＡＸ ０５３７－２４－９７２７